

申請先: 財団法人全国地域情報化推進協会 事務局

## 「業務ユニット」製品 PF準拠確認チェックリスト

APPLIC 登録番号:  ★APPLICで記載

## (1) 対象標準とバージョン

- ・自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0
- ・プラットフォーム通信標準仕様V2.0

## (2) PF準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

(a) 申請日(西暦月日): (b) 申請区分(新規、修正、破棄): 

(c) 申請者

団体名:  ★識別キー項目1

団体のURL:   
 APPLIC会員番号:

(識別キー項目3つでユニークになるように申請者が指定する)

(d) 製品情報

製品説明のURL:  ★識別キー項目2代表製品名: 

複数製品で構成する場合追記:

複数製品で構成する場合追記:

複数製品で構成する場合追記:

製品識別情報(バージョン等):  ★識別キー項目3リリース日(予定)(西暦月日): 対応OS: 製品の形態((1)型から(4)型): 

全て同一提供者

全て同一提供者

Y社製品を前提製品

Y社、Z社の製品を

業務処理製品  
(サービスIF処理)  
(PF通信処理)

(1)型

業務処理製品  
(サービスIF処理)  
PF通信製品

(2)型

業務処理製品  
(サービスIF処理)  
Y社PF通信製品

(3)型

業務処理 Z社アダプタ  
Y社PF通信製品

(4)型

Z社アダプタにより、業務ユニット

前提となるPF通信製品

前提PF通信製品名:  ※1前提PF通信製品名:  ※1前提のアダプタ製品名:  ※2

- ※1 (2)型から(4)型の場合、既に、準拠登録申請してあるPF通信機能を実装する製品名を記載する。  
 ※2 (4)型の場合、業務ユニットのサービスインターフェースを実現するアダプタ製品の製品名を記載する。

(3)PF準拠確認チェック項目(準拠ルール)					
◎:対応、○:制約のあるもの(制限事項をシートの最後の備考欄に記載する↓)					
番号	要件	準拠ルール	必須/ 選択	製品 確認	APPLIC 確認欄
1	住民基本台帳	住民の転入・転出・転居・出生・死亡等の異動、照会や証明書の発行・通知書の出力等を行う。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0の【業務1-4,7,8,9(1住民基本台帳),業務1-13】を参照)			
1-1	住民基本台帳ユニットが提供する機能を持つ	業務ユニットは、業務標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なっても良い。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須		
1-2	住民基本台帳ユニットのデータ項目を持つ	業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-7】のインタフェース仕様(ユニット)、【業務1-8】のをデータ一覧を参照)	必須		
1-3	住民基本台帳ユニットのインタフェースを持つ	業務ユニットは、標準書のインタフェース一覧で規定されている、業務ユニットのSOAPのサービス呼び出しのインタフェースを持つこと。 インタフェース番号1-1: 識別番号⇒個人情報 インタフェース番号1-2: 世帯番号⇒世帯情報 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-9】のインタフェース一覧を参照)	必須		
1-4	コード辞書に対応	業務ユニットは、利用側の業務ユニットとのデータ連携時(SOAP)に、標準書のコード辞書に定義された値に変換できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-13】のコード辞書を参照)	必須		
1-5	PF通信機能を持つ	①業務ユニットは、PF通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと。 ②業務ユニットは、PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、共通ヘッダの処理ができること。 ③業務ユニットは、PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること。	必須 必須 必須		
2	印鑑登録	印鑑の登録・廃止・印鑑証明の発行等を行う。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0の【業務1-4,7,8,9(2印鑑登録),業務1-13】を参照)			
2-1	印鑑登録ユニットが提供する機能を持つ	業務ユニットは、業務標準仕様の機能一覧で定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なっても良い。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須		
2-2	印鑑登録ユニットのデータ項目を持つ	業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-7】のインタフェース仕様(ユニット)、【業務1-8】のをデータ一覧を参照)	必須		
2-3	印鑑登録ユニットのインタフェースを持つ	業務ユニットは、標準書のインタフェース一覧で規定されている、業務ユニットのSOAPのサービス呼び出しのインタフェースを持つこと。 インタフェース番号2-1: 識別番号⇒印鑑登録情報 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-9】のインタフェース一覧を参照)	必須		
2-4	コード辞書に対応	業務ユニットは、利用側の業務ユニットとのデータ連携時(SOAP)に、標準書のコード辞書に定義された値に変換できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-13】のコード辞書を参照)	必須		
2-5	PF通信機能を持つ	①業務ユニットは、PF通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと。 ②業務ユニットは、PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、共通ヘッダの処理ができること。 ③業務ユニットは、PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること。	必須 必須 必須		

(3)PF準拠確認チェック項目(準拠ルール)					
◎:対応、○:制約のあるもの(制限事項をシートの最後の備考欄に記載する↓)					
番号	要件	準拠ルール	必須/ 選択	製品 確認	APPLIC 確認欄
3	外国人登録	外国人登録の増・減処理、登録証の発行、登録証調製依頼等の処理を行う。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0の【業務1-4,7,8,9(3外国人登録),業務1-13】を参照)			
3-1	外国人登録ユニットが提供する機能を持つ	業務ユニットは、業務標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なっても良い。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須		
3-2	外国人登録ユニットのデータ項目を持つ	業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-7】のインタフェース仕様(ユニット)、【業務1-8】のをデータ一覧を参照)	必須		
3-3	外国人登録ユニットのインタフェースを持つ	業務ユニットは、標準書のインタフェース一覧で規定されている、業務ユニットのSOAPのサービス呼び出しのインタフェースを持つこと。 インタフェース番号3-1: 識別番号⇒外国人登録情報 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-9】のインタフェース一覧を参照)	必須		
3-4	コード辞書に対応	業務ユニットは、利用側の業務ユニットとのデータ連携時(SOAP)に、標準書のコード辞書に定義された値に変換できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-13】のコード辞書を参照)	必須		
3-5	PF通信機能を持つ	①業務ユニットは、PF通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと。	必須		
		②業務ユニットは、PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、共通ヘッダの処理ができること。	必須		
		③業務ユニットは、PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること。	必須		
4	選挙人名簿管理	選挙人名簿の管理、入場券発行、不在者投票、住民投票の管理等を行う。検察審査会、農業・海区・漁業委員会選挙人名簿作成を行う。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0の【業務1-4,7(4選挙人名簿管理)】を参照)			
4-1	選挙人名簿管理ユニットが提供する機能を持つ	業務ユニットは、業務標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なっても良い。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須		
4-2	選挙人名簿管理ユニットのデータ項目を持つ	業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。(自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-7】のインタフェース仕様(ユ	必須		
5	固定資産税	固定資産税課税台帳(土地・家屋・償却資産)の評価・賦課・証明書発行・統計処理等を行う。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0の【業務1-4,7,8,9(5固定資産税),業務1-13】を参照)			
5-1	固定資産税ユニットが提供する機能を持つ	業務ユニットは、業務標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なっても良い。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須		
5-2	固定資産税ユニットのデータ項目を持つ	業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-7】のインタフェース仕様(ユニット)、【業務1-8】のをデータ一覧を参照)	必須		
5-3	固定資産税ユニットのインタフェースを持つ	業務ユニットは、標準書のインタフェース一覧で規定されている、業務ユニットのSOAPのサービス呼び出しのインタフェースを持つこと。 インタフェース番号5-1: 識別番号 相当年度⇒固定資産税情報 インタフェース番号5-2: 識別番号⇒送付先情報 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-9】のインタフェース一覧を参照)	必須		
5-4	コード辞書に対応	業務ユニットは、利用側の業務ユニットとのデータ連携時(SOAP)に、標準書のコード辞書に定義された値に変換できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-13】のコード辞書を参照)	必須		
5-5	PF通信機能を持つ	①業務ユニットは、PF通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと。	必須		
		②業務ユニットは、PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、共通ヘッダの処理ができること。	必須		

(3)PF準拠確認チェック項目(準拠ルール)					
◎:対応、○:制約のあるもの(制限事項をシートの最後の備考欄に記載する↓)					
番号	要件	準拠ルール	必須/ 選択	製品 確認	APPLIC 確認欄
		③業務ユニットは、PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること。	必須		
6	個人住民税	個人住民税の課税対象管理・資料の管理・賦課・統計処理等を行う。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0の【業務1-4,7,8,9(6個人住民税),業務1-13】を参照)			
6-1	個人住民税ユニットが提供する機能を持つ	業務ユニットは、業務標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なっても良い。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須		
6-2	個人住民税ユニットのデータ項目を持つ	業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-7】のインタフェース仕様(ユニット)、【業務1-8】のをデータ一覧を参照)	必須		
6-3	個人住民税ユニットのインタフェースを持つ	業務ユニットは、標準書のインタフェース一覧で規定されている、業務ユニットのSOAPのサービス呼び出しのインタフェースを持つこと。 インタフェース番号6-1: 識別番号、相当年度⇒個人住民税情報 インタフェース番号6-2: 識別番号⇒送付先情報 インタフェース番号6-3: 識別番号、対象年度⇒個人住民税特別徴収個人税額情報 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-9】のインタフェース一覧を参照)	必須		
6-4	コード辞書に対応	業務ユニットは、利用側の業務ユニットとのデータ連携時(SOAP)に、標準書のコード辞書に定義された値に変換できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-13】のコード辞書を参照)	必須		
6-5	PF通信機能を持つ	①業務ユニットは、PF通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと。 ②業務ユニットは、PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、共通ヘッダの処理ができること。 ③業務ユニットは、PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること。	必須 必須 必須		
7	法人住民税	法人台帳の管理・賦課台帳管理等を行う。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0の【業務1-4,7,8,9(7法人住民税),業務1-13】を参照)			
7-1	法人住民税ユニットが提供する機能を持つ	業務ユニットは、業務標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なっても良い。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須		
7-2	法人住民税ユニットのデータ項目を持つ	業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-7】のインタフェース仕様(ユニット)、【業務1-8】のをデータ一覧を参照)	必須		
7-3	法人住民税ユニットのインタフェースを持つ	業務ユニットは、標準書のインタフェース一覧で規定されている、業務ユニットのSOAPのサービス呼び出しのインタフェースを持つこと。 インタフェース番号7-1: 識別番号⇒送付先情報 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-9】のインタフェース一覧を参照)	必須		
7-4	コード辞書に対応	業務ユニットは、利用側の業務ユニットとのデータ連携時(SOAP)に、標準書のコード辞書に定義された値に変換できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-13】のコード辞書を参照)	必須		
7-5	PF通信機能を持つ	①業務ユニットは、PF通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと。 ②業務ユニットは、PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、共通ヘッダの処理ができること。 ③業務ユニットは、PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること。	必須 必須 必須		

(3)PF準拠確認チェック項目(準拠ルール)					
◎:対応、○:制約のあるもの(制限事項をシートの最後の備考欄に記載する↓)					
番号	要件	準拠ルール	必須/ 選択	製品 確認	APPLIC 確認欄
8	軽自動車税	車輛台帳の管理・賦課・証明書発行等の処理を行う。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0の【業務1-4.7.8.9(8軽自動車税)業務1-13】を参照)			
8-1	軽自動車税ユニットが提供する機能を持つ	業務ユニットは、業務標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なっても良い。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須		
8-2	軽自動車税ユニットのデータ項目を持つ	業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-7】のインタフェース仕様(ユニット)、【業務1-8】のをデータ一覧を参照)	必須		
8-3	軽自動車税ユニットのインタフェースを持つ	業務ユニットは、標準書のインタフェース一覧で規定されている、業務ユニットのSOAPのサービス呼び出しのインタフェースを持つこと。 インタフェース番号8-1: 識別番号⇒送付先情報 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-9】のインタフェース一覧を参照)	必須		
8-4	コード辞書に対応	業務ユニットは、利用側の業務ユニットとのデータ連携時(SOAP)に、標準書のコード辞書に定義された値に変換できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-13】のコード辞書を参照)	必須		
8-5	PF通信機能を持つ	①業務ユニットは、PF通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと。	必須		
		②業務ユニットは、PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、共通ヘッダの処理ができること。	必須		
		③業務ユニットは、PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること。	必須		
9	収滞納管理	個人住民税、法人住民税、固定資産税、軽自動車税及び国民健康保険税(料)の収納情報・滞納整理情報の管理、消込・滞納整理・過誤納の処理、統計出力等を行う。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0の【業務1-4.7.8.9(9収滞納管理)業務1-13】を参照)			
9-1	収滞納管理ユニットが提供する機能を持つ	業務ユニットは、業務標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なっても良い。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須		
9-2	収滞納管理ユニットのデータ項目を持つ	業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-7】のインタフェース仕様(ユニット)、【業務1-8】のをデータ一覧を参照)	必須		
9-3	収滞納管理ユニットのインタフェースを持つ	業務ユニットは、標準書のインタフェース一覧で規定されている、業務ユニットのSOAPのサービス呼び出しのインタフェースを持つこと。 インタフェース番号9-1: 税目コード,賦課年度,相当年度,徴収番号⇒収滞納情報 インタフェース番号9-2: 識別番号,税目コード,賦課年度,相当年度⇒収滞納個人別情報 インタフェース番号9-3: 識別番号⇒滞納有無情報 インタフェース番号9-4: 識別番号,税目コード⇒口座情報 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-9】のインタフェース一覧を参照)	必須		
9-4	コード辞書に対応	業務ユニットは、利用側の業務ユニットとのデータ連携時(SOAP)に、標準書のコード辞書に定義された値に変換できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-13】のコード辞書を参照)	必須		
9-5	PF通信機能を持つ	①業務ユニットは、PF通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと。	必須		
		②業務ユニットは、PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、共通ヘッダの処理ができること。	必須		
		③業務ユニットは、PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること。	必須		

(3)PF準拠確認チェック項目(準拠ルール)					
◎:対応、○:制約のあるもの(制限事項をシートの最後の備考欄に記載する↓)					
番号	要件	準拠ルール	必須/ 選択	製品 確認	APPLIC 確認欄
10	国民健康保険	資格の管理・保険証の発行、所得資産の管理・保険税(料)の賦課、レセプトのチェック・管理、療養費等の給付、統計処理等を行う。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0の【業務1-4,7,8,9(10国民健康保険),業務1-13】を参照)			
10-1	国民健康保険ユニットが提供する機能を持つ	業務ユニットは、業務標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なっても良い。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須		
10-2	国民健康保険ユニットのデータ項目を持つ	業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-7】のインタフェース仕様(ユニット)、【業務1-8】のをデータ一覧を参照)	必須		
10-3	国民健康保険ユニットのインタフェースを持つ	業務ユニットは、標準書のインタフェース一覧で規定されている、業務ユニットのSOAPのサービス呼び出しのインタフェースを持つこと。 インタフェース番号10-1: 識別番号⇒国民健康保険情報 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-9】のインタフェース一覧を参照)	必須		
10-4	コード辞書に対応	業務ユニットは、利用側の業務ユニットとのデータ連携時(SOAP)に、標準書のコード辞書に定義された値に変換できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-13】のコード辞書を参照)	必須		
10-5	PF通信機能を持つ	①業務ユニットは、PF通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと。	必須		
		②業務ユニットは、PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、共通ヘッダの処理ができること。	必須		
		③業務ユニットは、PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること。	必須		
11	国民年金	国民年金資格の管理・付加・免除・給付の管理を行う。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0の【業務1-4,7,8,9(11国民年金),業務1-13】を参照)			
11-1	国民年金ユニットが提供する機能を持つ	業務ユニットは、業務標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なっても良い。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須		
11-2	国民年金ユニットのデータ項目を持つ	業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-7】のインタフェース仕様(ユニット)、【業務1-8】のをデータ一覧を参照)	必須		
11-3	国民年金ユニットのインタフェースを持つ	業務ユニットは、標準書のインタフェース一覧で規定されている、業務ユニットのSOAPのサービス呼び出しのインタフェースを持つこと。 インタフェース番号11-1: 識別番号⇒国民年金情報 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-9】のインタフェース一覧を参照)	必須		
11-4	コード辞書に対応	業務ユニットは、利用側の業務ユニットとのデータ連携時(SOAP)に、標準書のコード辞書に定義された値に変換できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-13】のコード辞書を参照)	必須		
11-5	PF通信機能を持つ	①業務ユニットは、PF通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと。	必須		
		②業務ユニットは、PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、共通ヘッダの処理ができること。	必須		
		③業務ユニットは、PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること。	必須		

(3)PF準拠確認チェック項目(準拠ルール)					
◎:対応、○:制約のあるもの(制限事項をシートの最後の備考欄に記載する↓)					
番号	要件	準拠ルール	必須/ 選択	製品 確認	APPLIC 確認欄
12	障害者福祉	対象者の資格管理、進達処理、通知書発行、支払管理、統計処理等を行う (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0の【業務1-4,7,8,9(12			
12-1	障害者福祉ユニットが提供する機能を持つ	業務ユニットは、業務標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なって良い。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須		
12-2	障害者福祉ユニットのデータ項目を持つ	業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-7】のインタフェース仕様(ユニット)、【業務1-8】のをデータ一覧を参照)	必須		
12-3	障害者福祉ユニットのインタフェースを持つ	業務ユニットは、標準書のインタフェース一覧で規定されている、業務ユニットのSOAPのサービス呼び出しのインタフェースを持つこと。 インタフェース番号12-1: 識別番号⇒障害者福祉情報 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-9】のインタフェース一覧を参照)	必須		
12-4	コード辞書に対応	業務ユニットは、利用側の業務ユニットとのデータ連携時(SOAP)に、標準書のコード辞書に定義された値に変換できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-13】のコード辞書を参照)	必須		
12-5	PF通信機能を持つ	①業務ユニットは、PF通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと。 ②業務ユニットは、PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、共通ヘッダの処理ができること。 ③業務ユニットは、PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト・レスポンス同期型レスポンス」のPF通信を行えること。	必須 必須 必須		
13	後期高齢者医療	対象者の資格管理、保険料の賦課管理、収納管理、滞納管理を行う (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0の【業務1-4,7,8,9(13後期高齢者医療),業務1-13】を参照)			
13-1	後期高齢者医療ユニットが提供する機能を持つ	業務ユニットは、業務標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なって良い。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須		
13-2	後期高齢者医療ユニットのデータ項目を持つ	業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-7】のインタフェース仕様(ユニット)、【業務1-8】のをデータ一覧を参照)	必須		
13-3	後期高齢者医療社ユニットのインタフェースを持つ	業務ユニットは、標準書のインタフェース一覧で規定されている、業務ユニットのSOAPのサービス呼び出しのインタフェースを持つこと。 インタフェース番号13-1: 識別番号⇒後期高齢者被保険者情報 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-9】のインタフェース一覧を参照)	必須		
13-4	コード辞書に対応	業務ユニットは、利用側の業務ユニットとのデータ連携時(SOAP)に、標準書のコード辞書に定義された値に変換できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-13】のコード辞書を参照)	必須		
13-5	PF通信機能を持つ	①業務ユニットは、PF通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと。 ②業務ユニットは、PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、共通ヘッダの処理ができること。 ③業務ユニットは、PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト・レスポンス同期型レスポンス」のPF通信を行えること。	必須 必須 必須		

(3)PF準拠確認チェック項目(準拠ルール)					
◎:対応、○:制約のあるもの(制限事項をシートの最後の備考欄に記載する↓)					
番号	要件	準拠ルール	必須/ 選択	製品 確認	APPLIC 確認欄
14	介護保険	介護保険被保険者の資格管理・介護保険料の賦課・介護保険料の収納管理・受給者の台帳管理を行う。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0の【業務1-4,7,8,9(14介護保険),業務1-13】を参照)			
14-1	介護保険ユニットが提供する機能を持つ	業務ユニットは、業務標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なっても良い。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須		
14-2	介護保険ユニットのデータ項目を持つ	業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-7】のインタフェース仕様(ユニット)、【業務1-8】のをデータ一覧を参照)	必須		
14-3	介護保険ユニットのインタフェースを持つ	業務ユニットは、標準書のインタフェース一覧で規定されている、業務ユニットのSOAPのサービス呼び出しのインタフェースを持つこと。 インタフェース番号14-1: 識別番号⇒介護保険資格-高額給付情報 インタフェース番号14-2: 識別番号,納付額対象月⇒介護保険料賦課情報 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-9】のイン	必須		
14-4	コード辞書に対応	業務ユニットは、利用側の業務ユニットとのデータ連携時(SOAP)に、標準書のコード辞書に定義された値に変換できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-13】のコード辞書を参照)	必須		
14-5	PF通信機能を持つ	①業務ユニットは、PF通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと。  ②業務ユニットは、PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、共通ヘッダの処理ができること。  ③業務ユニットは、PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト-レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること。	必須 必須 必須		
15	児童手当	対象者の資格管理、現況受付、支払管理、統計処理等を行う。(児童福祉の一部) (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0の【業務1-4,7,8,9(15児童手当),業務1-13】を参照)			
15-1	児童手当ユニットが提供する機能を持つ	業務ユニットは、業務標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なっても良い。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須		
15-2	児童手当ユニットのデータ項目を持つ	業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-7】のインタフェース仕様(ユニット)、【業務1-8】のをデータ一覧を参照)	必須		
15-3	児童手当ユニットのインタフェースを持つ	業務ユニットは、標準書のインタフェース一覧で規定されている、業務ユニットのSOAPのサービス呼び出しのインタフェースを持つこと。 インタフェース番号15-1: 識別番号⇒児童手当情報 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-9】のインタフェース一覧を参照)	必須		
15-4	コード辞書に対応	業務ユニットは、利用側の業務ユニットとのデータ連携時(SOAP)に、標準書のコード辞書に定義された値に変換できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-13】のコード辞書を参照)	必須		
15-5	PF通信機能を持つ	①業務ユニットは、PF通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと。  ②業務ユニットは、PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、共通ヘッダの処理ができること。  ③業務ユニットは、PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト-レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること。	必須 必須 必須		



(3)PF準拠確認チェック項目(準拠ルール)					
◎:対応、○:制約のあるもの(制限事項をシートの最後の備考欄に記載する↓)					
番号	要件	準拠ルール	必須/ 選択	製品 確認	APPLIC 確認欄
16	生活保護	生活相談受付、保護申請審査、支給管理、統計処理等を行う。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0の【業務1-4.7.8.9(16生活保護).業務1-13】を参照)			
16-1	生活保護ユニットが提供する機能を持つ	業務ユニットは、業務標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なって良い。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須		
16-2	生活保護ユニットのデータ項目を持つ	業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-7】のインタフェース仕様(ユニット)、【業務1-8】のをデータ一覧を参照)	必須		
16-3	生活保護ユニットのインタフェースを持つ	業務ユニットは、標準書のインタフェース一覧で規定されている、業務ユニットのSOAPのサービス呼び出しのインタフェースを持つこと。 インタフェース番号16-1: 世帯番号⇒生活保護情報 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-9】のインタフェース一覧を参照)	必須		
16-4	コード辞書に対応	業務ユニットは、利用側の業務ユニットとのデータ連携時(SOAP)に、標準書のコード辞書に定義された値に変換できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-13】のコード辞書を参照)	必須		
16-5	PF通信機能を持つ	①業務ユニットは、PF通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと。	必須		
		②業務ユニットは、PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、共通ヘッダの処理ができること。	必須		
		③業務ユニットは、PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること。	必須		
17	乳幼児医療	対象者の資格管理、現物給付や償還払いによる医療費支給および統計報告処理を行う。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0の【業務1-4.7.8.9(17乳幼児医療).業務1-13】を参照)			
17-1	乳幼児医療ユニットが提供する機能を持つ	業務ユニットは、業務標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なって良い。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須		
17-2	乳幼児医療ユニットのデータ項目を持つ	業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-7】のインタフェース仕様(ユニット)、【業務1-8】のをデータ一覧を参照)	必須		
17-3	乳幼児医療ユニットのインタフェースを持つ	業務ユニットは、標準書のインタフェース一覧で規定されている、業務ユニットのSOAPのサービス呼び出しのインタフェースを持つこと。 インタフェース番号17-1: 識別番号⇒乳幼児医療情報 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-9】のインタフェース一覧を参照)	必須		
17-4	コード辞書に対応	業務ユニットは、利用側の業務ユニットとのデータ連携時(SOAP)に、標準書のコード辞書に定義された値に変換できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-13】のコード辞書を参照)	必須		
17-5	PF通信機能を持つ	①業務ユニットは、PF通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと。	必須		
		②業務ユニットは、PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、共通ヘッダの処理ができること。	必須		
		③業務ユニットは、PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること。	必須		

(3)PF準拠確認チェック項目(準拠ルール)					
◎:対応、○:制約のあるもの(制限事項をシートの最後の備考欄に記載する↓)					
番号	要件	準拠ルール	必須/ 選択	製品 確認	APPLIC 確認欄
18	ひとり親医療	対象者の資格管理、現物給付や償還払いによる医療費支給および統計報告処理を行なう。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0の【業務1-4,7,8,9(18ひとり親医療),業務1-13】を参照)			
18-1	ひとり親医療ユニットが提供する機能を持つ	業務ユニットは、業務標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なっても良い。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須		
18-2	ひとり親医療ユニットのデータ項目を持つ	業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-7】のインタフェース仕様(ユニット)、【業務1-8】のをデータ一覧を参照)	必須		
18-3	ひとり親医療ユニットのインタフェースを持つ	業務ユニットは、標準書のインタフェース一覧で規定されている、業務ユニットのSOAPのサービス呼び出しのインタフェースを持つこと。 インタフェース番号18-1: 識別情報⇒ひとり親医療情報 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-9】のインタフェース一覧を参照)	必須		
18-4	コード辞書に対応	業務ユニットは、利用側の業務ユニットとのデータ連携時(SOAP)に、標準書のコード辞書に定義された値に変換できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-13】のコード辞書を参照)	必須		
18-5	PF通信機能を持つ	①業務ユニットは、PF通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと。 ②業務ユニットは、PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、共通ヘッダの処理ができること。 ③業務ユニットは、PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること。	必須 必須 必須		
19	健康管理	成人診断・母子診断・予防接種情報の管理、保健指導、統計報告資料作成、データ分析の処理を行なう。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0の【業務1-4,7(19健康管理)】を参照)			
19-1	健康管理ユニットが提供する機能を持つ	業務ユニットは、業務標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なっても良い。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須		
19-2	健康管理ユニットのデータ項目を持つ	業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-7】のインタフェース仕様(ユニット)を参照)	必須		
20	就学	学齢簿の出力、小学校・中学校の就学通知の発行等を行う。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0の【業務1-4,7(20就学)】を参照)			
20-1	就学ユニットが提供する機能を持つ	業務ユニットは、業務標準仕様の機能一覧で定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なっても良い。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須		
20-2	就学ユニットのデータ項目を持つ	業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-7】のインタフェース仕様(ユニット)を参照)	必須		
21	戸籍	本籍人の出生・死亡・婚姻・離婚・養子縁組・養子離縁などの異動、照会、証明書発行、および通知書出力等を行う。また附票管理を行う。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0の【業務1-4,7(21戸籍)】を参照)			
21-1	戸籍ユニットが提供する機能を持つ	業務ユニットは、業務標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なっても良い。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須		
21-2	戸籍ユニットのデータ項目を持つ	業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-7】のインタフェース仕様(ユニット)を参照)	必須		

(3)PF準拠確認チェック項目(準拠ルール)					
◎:対応、○:制約のあるもの(制限事項をシートの最後の備考欄に記載する↓)					
番号	要件	準拠ルール	必須/ 選択	製品 確認	APPLIC 確認欄
30	住登外管理	住登外者・法人情報の管理を行う。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0の【業務1-4.7.8.9(30住登外管理)業務1-13】を参照)			
30-1	住登外管理ユニットが提供する機能を持つ	業務ユニットは、業務標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なって良い。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須		
30-2	住登外管理ユニットのデータ項目を持つ	業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-7】のインタフェース仕様(ユニット)、【業務1-8】のをデータ一覧を参照)	必須		
30-3	住登外管理ユニットのインタフェースを持つ	業務ユニットは、標準書のインタフェース一覧で規定されている、業務ユニットのSOAPのサービス呼び出しのインタフェースを持つこと。 インタフェース番号30-1: 識別番号⇒住登外情報 インタフェース番号30-2: 識別番号⇒法人情報 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-9】のインタフェース一覧を参照)	必須		
30-4	コード辞書に対応	業務ユニットは、利用側の業務ユニットとのデータ連携時(SOAP)に、標準書のコード辞書に定義された値に変換できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-13】のコード辞書を参照)	必須		
30-5	PF通信機能を持つ	①業務ユニットは、PF通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと。	必須		
		②業務ユニットは、PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、共通ヘッダの処理ができること。	必須		
		③業務ユニットは、PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること。	必須		
50	財務会計	予算編成・予算管理・歳入管理・歳出管理・歳計外現金・出納管理・決算管理等の処理を行う。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0の【業務1-4.7.8.9(50財務会計)業務1-13】を参照)		◎	
50-1	財務会計ユニットが提供する機能を持つ	業務ユニットは、業務標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なって良い。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須	○	
50-2	財務会計ユニットのデータ項目を持つ	業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-7】のインタフェース仕様(ユニット)、【業務1-8】のをデータ一覧を参照)	必須	◎	
50-3	財務会計ユニットのインタフェースを持つ	業務ユニットは、標準書のインタフェース一覧で規定されている、業務ユニットのSOAPのサービス呼び出しのインタフェースを持つこと。 インタフェース番号50-1: 参照日付情報⇒収納金情報 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-9】のインタフェース一覧を参照)	必須	◎	
50-4	コード辞書に対応	業務ユニットは、利用側の業務ユニットとのデータ連携時(SOAP)に、標準書のコード辞書に定義された値に変換できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-13】のコード辞書を参照)	必須	◎	
50-5	PF通信機能を持つ	①業務ユニットは、PF通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと。	必須	◎	
		②業務ユニットは、PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、共通ヘッダの処理ができること。	必須	◎	
		③業務ユニットは、PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること。	必須	◎	
51	庶務事務	勤怠管理・各種手当申請・その他各種申請・照会/配布・福利厚生管理・年末調整管理・正規職員以外管理等の処理を行う。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0の【業務1-4.7(51庶務事務)】を参照)			
51-1	庶務事務ユニットが提供する機能を持つ	業務ユニットは、業務標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なって良い。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須		

(3)PF準拠確認チェック項目(準拠ルール)					
◎:対応、○:制約のあるもの(制限事項をシートの最後の備考欄に記載する↓)					
番号	要件	準拠ルール	必須/ 選択	製品 確認	APPLIC 確認欄
51-2	庶務事務ユニットのデータ項目を持つ	業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-7】のインタフェース仕様(ユニット)を参照)	必須		
52	人事給与	申請受付・計算・年末調整・支払・人事・福利厚生・研修等の処理を行う。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0の【業務1-4,7,8,9(52)人事給与】、業務1-13)を参照)			
52-1	人事給与ユニットが提供する機能を持つ	業務ユニットは、業務標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なっても良い。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須		
52-2	人事給与ユニットのデータ項目を持つ	業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-7】のインタフェース仕様(ユニット)、【業務1-8】のをデータ一覧を参照)	必須		
52-3	人事給与ユニットのインタフェースを持つ	業務ユニットは、標準書のインタフェース一覧で規定されている、業務ユニットのSOAPのサービス呼び出しのインタフェースを持つこと。 インタフェース番号52-1: 職員番号,実績年度⇒旅費実績情報 インタフェース番号52-2: 職員番号,実績年度⇒勤務実績情報 インタフェース番号52-3: 非正規職員管理番号,実績年度⇒非正規職員関連情報 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-9】のインタフェース一覧を参照)	必須		
52-4	コード辞書に対応	業務ユニットは、利用側の業務ユニットとのデータ連携時(SOAP)に、標準書のコード辞書に定義された値に変換できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-13】のコード辞書を参照)	必須		
52-5	PF通信機能を持つ	①業務ユニットは、PF通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと。 ②業務ユニットは、PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、共通ヘッダの処理ができること。 ③業務ユニットは、PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること。	必須 必須 必須		
53	文書管理	公文書の收受・起案・承認/決裁/施行・保管・検索/照会・ファイル管理・情報公開等の処理を行う。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0の【業務1-4,7,8,9(53)文書管理】、業務1-13)を参照)			
53-1	文書管理ユニットが提供する機能を持つ	業務ユニットは、業務標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なっても良い。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須		
53-2	文書管理ユニットのデータ項目を持つ	業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準書のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-7】のインタフェース仕様(ユニット)、【業務1-8】のをデータ一覧を参照)	必須		
53-3	文書管理ユニットのインタフェースを持つ	業務ユニットは、標準書のインタフェース一覧で規定されている、業務ユニットのSOAPのサービス呼び出しのインタフェースを持つこと。 インタフェース番号53-1: 文書管理保管文書情報⇒文書管理番号 インタフェース番号53-2: 文書管理番号⇒文書管理保管文書情報 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-9】のインタフェース一覧を参照)	必須		
53-4	コード辞書に対応	業務ユニットは、利用側の業務ユニットとのデータ連携時(SOAP)に、標準書のコード辞書に定義された値に変換できること。 (自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.0【業務1-13】のコード辞書を参照)	必須		
53-5	PF通信機能を持つ	①業務ユニットは、PF通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと。 ②業務ユニットは、PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、共通ヘッダの処理ができること。 ③業務ユニットは、PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること。	必須 必須 必須		

(3)PF準拠確認チェック項目(準拠ルール)

◎:対応、○:制約のあるもの(制限事項をシートの最後の備考欄に記載する↓)

番号	要件	準拠ルール	必須/ 選択	製品 確認	APPLIC 確認欄
----	----	-------	-----------	----------	---------------

備考欄(前提条件や制限事項)

※「予算編成方針決定」機能に関しては、予算編成方針に沿って今年度の予算配当枠を設定する機能などを有しております。

「過誤納金管理」機能については、独立した機能ではなく、歳計外現金の払出業務を別途起案する運用になります。

「戻入命令」機能については、独立した機能ではなく、歳計外現金の受入調停を別途起案する運用になります。